

依那古の秋 ～依那古で季節を感じてみましょう～

『下郡南の曼殊沙華とハロウィンのカボチャ』

伊賀上野ケーブルテレビでも紹介されましたが、今年も彼岸花（曼殊沙華）が下郡南区の木津川堤防を真っ赤に染めていました。彼岸花は下郡南の松本さんご夫婦が15年程前から毎年少しづつ移植されたもので、現在は約300mの長さとなっており、満開となった9/18・19・20の土日祝日には、多くの方が訪れていました。

また堤防にある「彩ガーデン」にはハロウィンにちなんでアトランティックジャイアントと言う品種のジャンボカボチャが置かれ、彼岸花と共に見る人の目を楽しませています。

彼岸花は見頃を過ぎましたが、松本ご夫婦を始め下郡南の南部環境保全会の皆さんが飾り付けをされたハロウィンのオブジェは10月末頃まで置かれるそうですので、訪ねてみて下さい。



『依那具と市部のコスモス』

依那具の猪田道駅の南、市部駅の東側のコスモスも咲き始めました。見頃は10/5～10頃になるかと思いますが、毎年伊賀市内だけでなく県内外から多くの方が訪れる、秋の名所となっています。

心地よい秋風の中でコスモス畑の散策はいかがでしょうか？
 (写真は9/27現在の依那具のコスモス畑の様子です。)



『猪田神社境内の紅葉』

少し先の話になりますが11月に入ると猪田神社境内の紅葉も色づきだします。

境内の庭の苔と紅葉のコントラストもきれいです。

コロナの影響も考えて、残念ながら今年も子ども神輿は中止となる様ですが、実りの秋に感謝しながら紅葉の猪田神社を訪れてみるのもいかがでしょうか。



尚、依那古体験隊と児童福祉会で10数年来続けられている、猪田神社・依那古祭宵宮の提灯の奉燈は今年も行われる予定です。子ども達が描いた提灯を見に来てもらえたらと言う事です。

この他にも夕陽のきれいな日に、沖の不動寺の下から見下ろす赤く染まる依那古の風景も見事です。“沖＝広々とした田畑や野原の遠い所”という名にふさわしい景色が広がります。

勤給事態宣言も解除されましたが、今しばらくは注意が必要です。この時に、依那古の再発見として身の回りの秋を探してみてください。

健康づくり教室のお知らせ

8月の広報でお知らせした健康づくり教室はまん延防止等重点処置が発出され中止となっていました。9月末になりコロナの感染拡大も沈静化してきておりますので、依那古地区住民自治協議会の健康づくり教室を再計画します。

「バレトン」は「柔軟性を高めて身体の新陳代謝を促進する」「筋肉をつけながらしなやかな体を作る」「有酸素運動効果で脂肪燃焼を促進する」などの効果があるとされています。

まずは簡単な体操から教えてもらいます。ご家族、ご近所の皆さんお誘い合せの上、是非ご参加ください。(持ち物等は、回覧をご覧ください。)

健康づくり教室『バレトン体験』

1. 日時 10月27日(水) 14時～
2. 場所 地区市民センター 和室
3. 講師 インストラクター 森 嗣美 先生
4. 定員 30名

(参加希望者は地区センターまで)



2021年度 パネル展

「人権と平和」学習会
人権は「生きる」ことその前提にあり、「生きる」権利を奪う戦争は大きな人権侵害であることは昔の頃からあります。パネルを通じて平和と人権について考えてみましょう。

日時 10月6日(水)～15日(金)
平日 9:00～17:00、土日 9:30～15:30

場所 下郡教育集会所 1階和室

「原爆と峠三吉の詩」
原爆の下の声
すべての声は訴える
「原爆被災写真」
【ヒロシマ・ナガサキ】

【原 三吉】プロフェッショナル、1917年10月10日～1993年3月10日。大正に生まれ、毎スゴの四人兄弟の末子(三男)として生まれる。1922年岐阜市の小学校に入学、14歳の頃から詩を書くようになる。1名で武蔵野立役者学校卒業、詩歌界と結縁される。ほとんどの詩は戦争の生活と関係、戦時中、戦後、原爆をつくり、原爆・戦時中、1942年キリスト教の洗礼を受ける。1945年8月6日原爆(原爆の下の声)にて原爆、戦時中の人権について関心した原爆を題材にした詩集『原爆の下の声』を発表。原爆の被害者にもなっている。詩作活動、文壇活動の中心。『原爆の下の声』、『原爆と三吉の詩』、『原爆被災写真』、『ヒロシマ・ナガサキ』

下郡市民館 人権パネル展のお知らせ

『人権と平和』パネル展

1. 日時 10月6日(水)～15日(金)
平日 9:00～17:00
土日 9:30～15:30
2. 場所 下郡市民館
教育集会所 和室

人権は「生きる」ことが前提であり、「生きる」権利を奪う戦争は大きな人権侵害である事は言うまでもありません。このパネル展を通じて平和と人権について考えてみましょう。

問合せ；下郡市民館 (37-0558)

「ちょっと早めのライト・オン」を

三重県では、県交通安全対策協議会で、10/1～12/31まで、「夕暮れ時、ちょっと早めのライト★オン運動」が実施されます。

秋の夕暮れは「つるべ落とし」と言われ、日没の時間が早くなり、あっという間に暗くなります。普段、通り慣れた道でも危険がいっぱいです。

危険をいち早く発見するために、また車の通行を知らせる為にも早めのライトオンをお願いします。



依那古探訪

天童山古墳群のお話 (発掘調査資料より)

上郡区に位置する天童山古墳群は以前からその存在は知られていましたが県道・上野島ヶ原線の工事に先立った平成15年の調査で、2基の古墳から横穴式の石室が確認されました。石室からは金箔片や耳環・装身具・武器等、多くの副葬品が、また祭祀に使われたと推測される土器も出土しています。

古墳は出土遺物から弥生時代後期のものと推定され、当時の様子をはかり知る物で貴重な調査結果であったと報告されています。

依那古には石山古墳などの古墳や遺跡も数多く発掘されていますが、弥生時代から中世期、江戸時代の天正伊賀の乱など、歴史の中でポイントとなる場所であったと言えます。

現在、天童山古墳群は埋め戻されて見る事は出来ませんが、古き時代を思いながら散策してみるのがいかがでしょうか。



(上郡栞川橋から臨む 県道686と天童山)